



5月号 第237号

発行日 平成23年5月1日(日)
発行所 八王子の碁を楽しむ活きいき連合
住 所 八王子市みつい台2-13-12
TEL (042) 691-3671
発行人・磯部 信広
編集者・三浦 和夫

碁楽連の目的

碁楽連は、八王子市内に居住する高齢者が、囲碁を通じて親睦を図り、かつ、健康を維持できるようにその機会を提供し、高齢者の福祉の増進に寄与することを目的とする。

<http://www.shiminkatudo-hachioji.jp/gorakuren/>

対局雑感

恩方寿囲碁同好会副会長 荒井 正

ある囲碁の対局の時であった。相手の人から、あなたのその癖は、良くない旨の指摘を受けたのである。

その癖とゆうのは、私が手番の時、利き腕である人差し指と中指に次に打つべき石を挟んで、碁笥の中でカッチ、カッチとリズムカルに音を立てていた。その癖を咎められたのである。その癖というのは、自分にとって集中力を高めるものであり、心の落ち着きをもたらすものであった。

しかしながら、その指摘を受けた時、たとえ、その癖が自分にとって都合の良いものであっても、相手からすれば、雑音でしか過ぎなかつたと思うと共に、相手の集中力を妨げていたのであり、三昧たるを妨げていたとも言える。だから、陳謝して、正すべきことを誓ったのである。

三昧という言葉が、囲碁三昧に限らず趣味全般に使われる時、三昧で有る事、あるいは三昧になれる事が、楽しいことである、という事を連想させる。

「一方証するときは、一方はくらし」正法眼蔵、現成公案の巻に出てくる一節である。次の一手をどのように打てば、最善手となり得るかを、一手入魂ともゆうべき一念をもって、熟慮しつつ打ち進めてゆく時、他の一方、即ち森羅万象、悉く、その一念の中に包含されてしまうとゆうのである。要いて、これを言えば、渾身心を引っ提げて、対局する時、真に三昧ともなり得るのだと思うのである。そして、もし、囲碁の対局に於いて、囲碁の持つ真の楽しさ、妙趣ともゆうべきものがあるならば、このような時にこそ顕現するのであり、その現成と思うのである。

従って、対局時にあっては、三昧を妨げる物、そして、それが相手の持つ癖によるならば、その癖の排除こそ、為されて、然るべき事と思うのである。

無くても七癖とも言う如く、誰でももつのが癖であり、自分では気付かないのも癖の持つ特徴とも言

える。だからこそ、対局時にあっては、常に、相手の三昧を妨げる癖が有るか無いかを、自ら反省回顧して欲しいと思うのである、勿論、自分自身を含めてのことである。

碁楽連活性化諮問委員会がスタートしました

第1回碁楽連活性化諮問委員会が平成4月4日（月）東浅川保険福祉センターで、磯部会長、三浦理事、下記委員の方々が参加して、開催されました。

磯部会長の挨拶、委嘱状の交付、諮問事項の説明に続いて、委員長、副委員長を選出して、日程並びに進め方等が協議決定されました。

諮問委員会委員

委員長	三上靖宏（台町）	委員	廣島松治（川口やまゆり）
副委員長	望月成一（浅川）	委員	杉渕 清（由木）
委員	信江 峻（由木）	委員	南正一郎（浅川）
委員	真田誠次（浅川）		

第20回 活きいき囲碁大会のご案内

元八王子大会

日時	平成23年6月5日（日）受付 午前9時00分～9時30分
会場	元八王子市民センター（上壺分方747-1 Tel 651-3960）
申込先	会長・三浦 和夫 四谷町731-6 Tel・Fax 624-5429
申込期限	5月22日

中野大会

日時	平成23年6月19日（日）受付 午前9時00分～9時30分
会場	中野市民センター（中野町2726-7 Tel 627-6221）
申込先	会長・望月 毅士 みつい台2-30-11 Tel・Fax 691-4192
申込期限	6月5日

2大会とも

主催	各寿囲碁同好会
後援	日本棋院 八王子市 八王子市教育委員会
参加資格	市内に居住している60歳以上で10級以上の囲碁愛好者
参加費	700円（弁当代を含む）非会員 800円
競技方法	2ないし3のクラス別に行い、入賞者には賞品を進呈します。
申込方法	できるだけ同好会の会長を通して申し込んでください。

第21回 活いき囲碁浅川大会の結果

4月3日(日) 於 横山南市民センター

参加者

浅川	元八	中野	大和田	石川	台町	北野	長房	川口	合計
35	1	1	2	3	4	6	4	4	60

Aクラス 21名

優勝：神宮寺敏郎 浅川/7段 準優勝：吉田 旭 浅川/7段 3位：松見勝義 浅川/6段

Bクラス 25名

優勝：草木昭臣 浅川/4段→5段 準優勝：梶原和夫 浅川/2段 3位：田中利孝 浅川/4段

Cクラス 14名

優勝：山田清志 元八/2級→1級 準優勝：富井 栄 浅川/初段 3位：武登悦子 浅川/1級

◎平成23年度役員

碁楽連理事

役職	氏名	郵便番号	住所 Eメール	電話番号 FAX
会長	磯部 信広	192-0014	みつい台 2-13-12	691-3671
			lsobe2353@nifty.com	691-3671
理事 (会場・用具担当)	長谷川孝二	192-0153	西寺方町 1019-55	651-0601
			k-hase@mua.biglobe.ne.jp	651-0601
理事 (広報担当)	三浦 和夫	193-0813	四谷町 731-6	624-5429
			kz513miura@ybb.ne.jp	624-5429
理事 (会計担当)	井出 道明	192-0045	大和田町 7-17-6	644-7417
				644-7417
理事 (競技担当)	松本 健彦	192-0023	久保山町 2-33-16	691-8343
			ken.matsumoto@tbt.t-com.ne.jp	691-8343
理事 (総務担当)	山崎 修司	193-0931	台町 3-22-1-415	627-0567
			st-yam@nifty.com	627-0567

寿同好会会長

地 区	氏 名	郵便番号	住 所	電話番号
浅川	望月 成一	193-0845	初沢町 1227-4-A-522	663-9758
恩方	吉沢 實	193-0816	大楽寺町 456-19	624-5249
元八王子	三浦 和夫	193-0813	四谷町 731-6	624-5429
中野	望月 毅士	192-0014	みつい台 2-30-11	691-4192
大和田	井出 道明	192-0045	大和田町 7-17-6	644-7417
石川	松本 健彦	192-0023	久保山町 2-33-16	691-8343
台町	山崎 修司	193-0931	台町 3-22-1-415	627-0567
由木	杉渕 清	192-0363	別所 1-17-29	670-8733
北野	山縣 文雄	192-0912	絹ヶ丘 3-39-14	676-9298
長房	安西 実	193-0825	城山手 1-14-6	663-6212
川口やまゆり	松崎 邦夫	193-0801	川口町 2155-2	654-5763

特別任務委嘱者(1)

担当業務	氏 名	郵便番号	住 所 Eメール	電話番号
ホームページ	松田 礼治	192-0023	久保山町 1-9-3-303 re-matsuda@asahi.email.ne.jp	692-3973
賞状記名	佐藤 要吉	193-0931	台町 1-17-8	623-1047
市民囲碁大会	望月 成一	193-0845	初沢町 1227-4-A-522	663-9758

特別任務委嘱者(2) こども囲碁教室・初心者教室講師

	氏 名	郵便番号	住 所	電話番号
こども囲碁 教室・大人 入門コース	三上靖宏 (責 任者)	193-0931	台町 3-22-1-121	625-9529
	真田 誠次	193-0833	めじろ台 3-12-1	663-5107
	下重 利雄	193-0942	櫛田町 1214-1-815	664-3251
	鈴木 信義	193-0826	元八王子町 1-242-65 松子舞団地 6-9	664-1440
初心者教室	端山 昌夫	193-0832	散田町 3-3-21	663-8753
	真辺 保幸	192-0154	下恩方町 1733-1	651-3535

相談役・技術顧問・指導員

役職	氏名	郵便番号	住所	電話番号
相談役	三浦 浩	192-0042	中野山王 1-14-1	622-4664
顧問会会長	名取 豊彦	193-0826	元八王子町 3-2750-150	666-0520
顧問	永安 浩二	193-0826	元八王子町 3-2153-222	665-1386
	荒井 良夫	193-0934	小比企町 1053-28	635-5182
	杉下 勇	193-0826	元八王子町 3-2750-684	665-1660
	林 則文	192-0916	みなみ野 2-5-9	632-4126
顧問・研修部長	鈴木 信義	193-0826	元八王子町 1-242-65 松子舞団地 6-9	664-1440
指導員/東浅川	神宮寺敏郎	663-6931	櫛田町 562-16	663-6931
	小黒 尚	193-0834	東浅川町 540-5 けやき通プラザ 501	663-0788
指導員/南大沢	大場芙美夫	192-0363	別所 1-48-1-3-604	675-5167

研修部

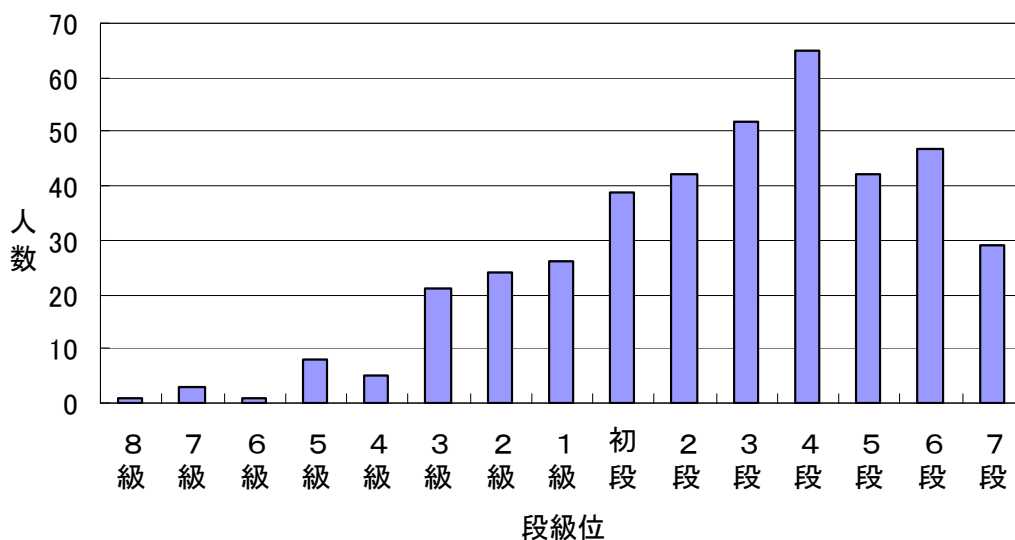
役職	氏名	郵便番号	住所	電話番号
東浅川事務長	草木 昭臣	193-0833	めじろ台 3-30-2	664-0771
南大沢事務長	和田 幸彦	192-0364	南大沢 5-9-5-204	677-7738

◎基楽連会員数 (平成 23 年 4 月 1 日現在)

地区同好会	会員数	研修部員数
浅川寿囲碁同好会	51	東 15
恩方寿囲碁同好会	37	東 8
元八王子寿囲碁同好会	27	東 11
中野寿囲碁同好会	20	東 2
大和田寿囲碁同好会	27	東 7
石川寿囲碁同好会	25	東 1
台町寿囲碁同好会	33	東 8
由木寿囲碁同好会	38	南 22
北野寿囲碁同好会	66	東 2
長房寿囲碁同好会	41	東 15
川口やまゆり寿囲碁同好会	27	東 4
計	392	95

東浅川研修部	73
南大沢研修部	22

段級別会員数



投稿

碁楽連の活性化

元碁老連会長

現ホームページ担当 松田 礼治

趣味の多様化、インターネット上で24時間いつでも好きな時に対局可能等で碁会所へ通う人口が減る傾向にあることは否定できません。また60才で老人扱いされる事に抵抗を感じ老人会離れが起っています。碁楽連でも新たな入会者が少なく極度に高齢化し何らかの対策が不可欠です。

平成18年度総会で碁老連（八王子の碁を楽しむ老人連合）から碁楽連（八王子の碁を楽しむいき連合）に改名し老人の文字を削除し若手も抵抗なく入会できるようにいたしました。広報手段としてホームページも開設しました。環境整備の第1ステップは行いましたが第2ステップには進んで

いません。

最近、碁楽連の課題、活性化等について会員諸兄の関心が高まり会誌上で活発に議論されるようになりました。杉淵 清さんが碁楽連だより222号に「碁楽連のボランティア」、望月成一さんが碁楽連だより233号に「八王子に囲碁文化の花を咲かせたい」、廣島松治さんが碁楽連だより235号に「八王子囲碁界の発展を願う」を投稿されています。再度ご一読をお願いしたい。

年齢、性別、棋力に関係なく誰でも会場に向いて碁を楽しむ事ができるのが理想です。実現するには環境整備、会員の入会勧誘、社会貢献の面から検討し幾多の困難を乗り越えていく必要があります。

先に述べましたように碁楽連（八王子の碁を楽しむ活きいき連合）に改名し、名称からは老人を削除しましたが規約からは60才の壁を外すには至っていません。規約の改正、東浅川保険福祉センター使用料（60才以上は無料）有料化等の問題も合わせて総合的に検討する必要があります。先の長い話です。

まずは出来ることからやりましょう。

各市民センターで60才以下の方も囲碁同好会に入会していただき、そのうち60才以上の有志で寿囲碁同好会を結成し碁楽連に加入すればよい。碁楽連規約に関係なく、直ちに実行可能であります。

碁楽連に入らず活動している囲碁同好会も多数あるようです。碁楽連は制約ばかり多く、入会のメリットが少ないのが理由のようです。入会勧誘の働きかけはやる必要があります。と同時に気楽に入会でき、メリットを享受できるように出来ないか検討する必要があります。

17市民センターのうち、寿囲碁同好会のない6市民センターにも囲碁同好会の結成を働きかけていきましょう。

碁楽連への入会勧誘には市民の皆様にも碁楽連をもっと知って頂く必要があります。そのためには、いかに広報を充実するか極めて大切な問題です。

廣島川口やまゆり寿同好会会長から会報編集委員会、ホームページ編集委員会を設置して広報の充実を図るべきだと言われました。

最近、「碁楽連だより」への投稿が活発になり大いに結構なことですが一般市民が興味を持てるような内容をより充実して、広く市民に配布してはと思います

ホームページは私が数年前に作成してから特に大きな改善もせず数年経過し陳腐化してきました。ITを職業としてきた若い気力、体力、センスのある方に編集を担当していただき全面改訂し広報に役立てていただきたいと思います。

広報という意味では17市民センター、クリエイトホール等に定期的にポスターの掲示・チラシの配布を行う、11月3日の市民囲碁大会以外にも市民に開かれた囲碁大会を年に何回か開催する、有志会員が市内の囲碁団体を訪問してコミュニケーション、入会勧誘を行う等いろいろあると思います。また昔あった活きいき囲碁八王子大会も復活してはと思います。

日本は既に超高齢社会になり高齢者の貢献なしには社会は成り立ちません。現在、子供囲碁教室、

入門・初心者教室、一部の学校でのボランティア活動等をおこなっていますがポスター、チラシ等でもより積極的にボランティア活動をPRして社会に貢献してはと思います。そうすることにより市民の認知度も一層高まり囲碁ボランティアをやろうと入会される方もいらっしゃるのではないかと思います。

碁楽連の段位は甘すぎると世間から馬鹿にされるようでは新人の入会は躊躇されます。碁楽連の7段だといえ世間から尊敬されるような段級位システムを確立することが望ましいとも言えます。活きいき囲碁地域大会では極端な場合13名グループで実質3勝（不戦勝1勝、対局1勝、抽選で本戦入りし2勝）すれば昇段するようなシステムで、改善しようと数年前に高段者から提案があり段級位検討委員会を設置して改善案を検討して総会にかけましたが否決されました。会員の昇段の要望は強く当然考慮する必要がありますが碁楽連の活性化、新人の入会のためには世間相場も考える必要があります。非常に難しい問題ですが会員に受け入れられる改善の方法を見出していく必要があります。

幸い23年度総会で碁楽連活性化対策検討諮問委員会の設置が議決されました。活性化の諸提案を検討・実行するには幾多の障害を乗り越えていくエネルギーが必要です。気力、体力に満ち、プレゼンテーション・コミュニケーション能力を備えた若者が参加され具体的な成果をあげられることを期待いたします。

◎第1回碁楽連理事会報告

日時 平成23年3月26日（土）9：00～12：00

出席者 望月・塚原、理事6名

- 議案
1. 諮問委員会委員候補者の決定
 2. 新年度役員分担の確認
 3. 23年度スケジュールの確認
 4. 会報「碁楽連だより」執筆順序について
 5. 23年度会員名簿の作成確認

編集後記 4月3日の浅川活きいき大会を皮切りに、新年度がスタートしました。会員諸兄のご活躍を期待します。また、碁楽連活性化諮問委員会もスタートしました。松田さんの機を得た投稿は、諮問委員会、理事会にとっても大変参考になるものとおもいます。